

平成19年5月11日
海上保安庁

連絡先：
海上保安庁海洋情報部
技術・国際課
海洋情報渉外官 淵之上 清二
電話：3541-3685（内530）

第17回国際水路会議の開催結果

5月7日～11日の間、モナコにおいて第17回国際水路会議が開催されました。

今次会議では、先般の臨時国際水路会議（2005年4月）で採択された国際水路機関（IHO）条約の諸規則の改正が行われたほか、理事の改選が行われました。

1. 期日

平成19年5月7日（月）～5月11日（金）

2. 場所

モナコ公国

3. 主な出席者

- (1) 海上保安庁
加藤 茂 海洋情報部長
- (2) 外務省
西田 英男 参与

4. 第17回国際水路会議の概要

(1) 諸規則改正

先般の臨時国際水路会議（2005年）で条約改正議定書が採択されたのを受け、今次会議のIHO活動報告で、一般規則、財政規則などの諸規則の改正案が報告され、承認されました。

(2) 過去5年間の活動報告

2003年から2007年までの活動報告において、電子海図（ENC）の普及状況やデータ保護のための暗号化の仕組みなどが報告されました。

この中で、海図作製の指針となるIHO刊行物「大洋と海の境界」について、韓国等からいわゆる日本海呼称問題の提起があり、今後の改訂作業の進め方について討議が行われましたが、何も決定されませんでした。

(3) 今後5年間の事業計画

2008年から2012年までの5年間事業計画で、ENCの未刊行海域の改善や、水路技術を更に向上させるために加盟国間で技術協力することなどの計画が決まりました。

さらに我が国から、国際海事機関（IMO）において2010年までに高速船舶に対しENCを表示させるための装置を搭載することが義務付けられることを受け、IHOにおいて全世界をカバーするENCを早急に刊行できるよう各国の刊行能力の向上及び協力関係を構築していくことが重要である旨の決議を提案し、承認されました。

5. 理事改選の結果

理事当選者は次のとおりであり、日本から立候補していた西田英男氏は残念ながら選出されませんでした。

- ① Alexandros MARATOS ギリシャ
元ギリシャ海軍水路部長、現 IHO 理事長
- ② Hugo M. GORZIGRIA チリ
元チリ海軍水路・海洋部長、現 IHO 理事
- ③ Robert E WORD オーストラリア
現オーストラリア海軍水路部副部長

※ 国際水路会議は、海図等を改善することで全世界の航海をより一層容易かつ安全にすることを目的としたIHOの5年に1度開催される総会です。

※ 日本海呼称問題に関するウェブサイト

海上保安庁 <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>

外務省 http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/nihonkai_k/index.html